

美容業界が取り組むSDGs ～カラーチューブのリサイクル活動～

山梨県美容業生活衛生同業組合（理事長 橋本光隆）は、カラーチューブのリサイクル活動に取り組んでいます。

お客様を美しくする仕事である美容師は、国家資格を必要とする職業としてヘアカットやカラーリング、パーマ、ネイル・まつげケア等、多岐に渡るサービスを提供していますが、厚労省のデータでは国内の美容室では年間約3万tのカラーチューブ等が使用されています。

一般的にカラーチューブは劣化を防ぐための方法としてチューブ式アルミニウム容器に入れて販売されていますが、使用後はゴミとして廃棄されています。リサイクルされているのはこの内の一部となり、カラーチューブのリサイクルはまだ部分的であるのが現状となりました。

しかし、持続可能な開発目標であるSDGsの普及と共に美容業界では2020年頃から全国的に使用済みカラーチューブのリサイクル活動の取り組みをスタートさせました。

山梨県でも、2021年（令和3年度）から組合に加入している美容室に呼びかける等、使用済みカラーチューブのリサイクルを行い、SDGs活動を積極的に取り組んでいます。

回収したチューブ（アルミ廃材）は、定期的に執行部役員にてチェック作業を行ない、リサイクル業者に送付することで再生アルミとな

山梨県美容業生活衛生同業組合

山梨県美容組合 SDGsの取り組み



見てね!!

山梨県美容業生活衛生同業組合
山梨県カラークラブ



かいぼん(愛称)



コムちゃん(スタッフ)



SDGsの取り組み

(山梨県美容組合YouTubeチャンネルで紹介中です!)

り、ゴミの削減と資源保護に役立っています。SDGs活動に取り組み今年で3年目となり、今までに集まったカラーチューブは約850kgとなりました。また、美容室同士の口コミや組合が運営しているYouTube動画チャンネル等のSNSでもSDGs活動が広まり、今では組合加盟店300社以上が活動に参加するまで成長しています。身近なキーワードとなりつつある「SDGs」ですが、組合では、美容業界の特性を活かし日本が直面する社会の課題解決に向けて活動を継続させていきます。お客様に“美”の提供を行っていただくだけでなく、SDGs活動等を通じて企業としての付加価値をプラスし信頼度を高めていくことで、お客様から選ばれる「美容室」を目指していきます。



担当：鈴木